

# 土岐・運・来

とぎ わぐり きたる

会報「土岐・運・来」第24号  
発行 自然・馬・人の会  
発行日 2003年12月14日(日)  
只今の会員数 正会員 55名  
協力会員 32名  
賛助会員 2名

## 『亮介くんのひとりだち』

(※ガイドボランティアさんとくるようになりました)

小田原市・斎藤亮介くんのおかあさん  
みなさまこんにちは。亮介は、少しは上手に馬に乗れるようになったでしょうか。  
実は、最近、亮介は、ボランティアさんと一緒に馬の会に行っています。今まで、どこに行くのも母と一緒にだったので、母としてはちょっと複雑な気持ちを抱きながらも、母と離れて出かけられる機会が得られたことを嬉しく思っております。次回も「ボランティアさんと一緒にでね」と言うと「いいよ!」と言ってくれ、「どうやって乗ったの?」ときくと、「ホラホラこうやって」と身振りで教えてくれる姿を見ると、又、また嬉しくなりました。

(10/14)



◆すーちゃんとお屋を食べるのをいつも楽しみにしていますよ。

すーちゃんのお母さんとおばあちゃんは、いつも温かい汁物を作ってくれている人です。

## 自分であげられないけど、 にんじんは忘れちゃダメ。

伊勢原市・すーちゃんのおかあさん



涼佳が初めて馬に乗ったのは2歳の頃、小田原のとある公園でした。自分で乗りたいと言ったのですが、親から離れることができない子だったので、知らないおじさん(?)に引かれて高い馬の上に一人乗ることなんて無理だろうと思ったのですが、やらせてみるとニコニコと手を振っているではありませんか。

それを見ていた私の母が自分がボランティアをしている馬の会のことを教えてくれたのですが、まだ2歳という事もあり、早すぎるかなと思いつつもとりあえずひき馬だけでもと出向いたのが始まりです。行っ

てみるとうちの子よりも幼い子もいましたし、乗馬記録もつくということで、早速会員になりました。

とても、シャイな子で毎回始まりの時は馬の会のお兄さんに相手をしてもらったり、おやつをもらったり、一緒にお屋を頂いたりしているうちに本領を発揮。子どもは自分が受け入れられている場所を本能で察知するのですね。本当にいつも会のメンバーの方には頭が下がります。

人参タイムはお気に入りの時間で、以前、にんじんを忘れてしまった時は、半泣き。以来馬の会に行く前には、「にんじん持った?」とチェックされます。でも実はまだ一人でにんじんをあげることが出来ずに、私と一緒にやっている段階です。

小さいうちから馬の会にめぐり合えて娘はラッキーだったと思います。細くとも長く乗馬を楽しんでほしいです。

(10/12)

## 自分でバランスがとれるようになりました。

小田原市・山王丸美帆さんのハハさん

乗馬をはじめてもう7年近くになるでしょうか…。

最初の頃は、座位がとれなくて前にまくらを抱いてフニャフニヤ乗ってました。

回を重ねることに少しずつ体を起こし自分でバランスをとるようになり、今では背すじがピンで、手を離して乗れるようになりました。その成果は日常生活でも歩行・運動の発達につながっているのではないかと思っています。

家族以外の人とのコミュニケーションがむずかしいので、これからも人との関わりを大切に楽しく参加して行きたいと思います。

(10/7)

◆颶太の「グランマ」が買ったぬいぐるみは、電動で揺れるタイプ。午年だから買ったとか……。

## 初参加の心配・・・

### どこかにとんだ！！

川崎市・(ボランティア)カツ丼さん

私が今回ボランティアとして参加した理由は、単純に馬と触れ合ってみたい！と思つたからでした。参加する前は、馬に触れるのは、初めてだし、乗ったこともないし、申し込みの電話をした後に、大丈夫なのだろうかと少し心配になつたりもしましたが、実際に参加してみて、心配はどこかに行つてしましました。

馬に初めて触れて、暖かくて、ああ、生きているなあと思ったのが最初の印象でした。馬を楽しみに色々な場所からたくさん的人が来ていました。馬に乗っているときの顔は皆さんとても輝いていて、見ていて私も嬉しかったです。多くの人とも時間を共有でき、良かったです。

(9/14)



## 1才4ヶ月。ぬいぐるみが本物になっちゃった。！

小田原市・颶太さんのママさん

颶太も11月で3才になります。1才4ヶ月から、ボランティアで参加していた“グランマ”に誘われ、ウキウキ気分で参加したのがはじまりでした。それまでは、1才の誕生日のプレゼントのぬいぐるみの木馬にまたがり、パッパカパッパカやっていたのが、本物に乗れるのですから大興奮！！

お馬さんにも慣れて、ボランティアの皆さんにもかわいがってもらい、最近では、余裕が出てきたようです。お馬さんが好きで、乗馬が好きになり、楽しいから今まで続けられてこられました。「好き」という気持ちが続く限り、これからも参加させていただきます。これからどう変わっていくのかなあ・・・楽しみです。



(9/16)



# 馬の目の優しさには 心が和みました。

小田原市・(ボランティア)高橋哲雄さん

先日(9/7)初めて馬の会へ参加させていただき、楽しい1日を過ごさせていただきました。

馬に乗ったのも、ブラシをかけたのも初めてでしたが、よい経験が出来たと思っています。馬の目の優しさには、心が和みました。

また機会が有りましたら、参加したいです。最後に、役員の皆様方には、大変お世話になりました。

(9/10)



# こんなにも長い時間、 馬と一緒にいたのは…。

茅ヶ崎市・(ボランティア)戸田有紀さん

9/7に初めてこのボランティアに参加しました。夏休み中にインターネットで、こここの会のボランティアを見て、“これなら私にも出来るかも！”と思い、参加する事になりました。

馬には、過去にも数回乗ったことはありますでしたが、こんなにも長い時間一緒にいるのははじめてで(前から動物は好きでしたが)馬が大好きになりました。この会のメンバーはみんな親切で、仲が良く、本当に楽しい1日でした。

馬はそう簡単にいつも触れ合えるものではないから、結構遠い存在と見られがちかもしれません、この会に参加して、馬をより身近に感じる事ができてよかったです。是非、次の機会も参加したいと思っています。

(9/14)



## 《会員紹介コーナー》

### ミルキーとハイジの 『会員さんに聞きました！』

みんなからかわいがられる子になつてほしいと思っていたから。

～小田原市・八幡将平くん(小5)



奈都美ちゃん(小3)

のおかあさんに聞きました！

●将ちゃんとなっちゃんも入会から5年。2人のことをお母さんからお聞きするうち、ボランティアが声をかけることの大切さと、兄弟が2人して乗ることの意味も、見えてきたような気がしました。

### ―― まず、入会のきっかけは？

(母) お友達の青木宏憲くんのお母さんの紹介です。障害をもつた子って、外に出て何かする場が少ないんです。ここなら「ボランティアのサポートがいい」って、青木さんから聞いたのが、一番のきっかけです。

### ―― 障害への効果は期待しましたか？

(母) 将平の場合、そういうつもりはないで、すごい引っ越し思案なんですよ。最初は、ここに来るのさえ、どうかと思ったほどで。馬に関わるのも重要なんですが、ボランティアさんとの関わりが大切だと思いました。自分から人に接するタイプではないんですが、ここではたくさんの方が声をかけて下さって、親から離れて動いてくれる。それがすごくいいなと思うんです。



そういう面では、外に出ても、それほどかたくなになることはなくなりました。それが一番心配なことだったんです。

— なっちゃんの方の変化は？

(母) 最初は、馬にさわれないし、乗れないしで…。「怖いからイヤ」ってやらなかったんです。それが今ではなっちゃんの方が逆にはまってしまって…(笑)。

— 最初はお兄ちゃんのつき合いのはずが、

(母) そう、妹がはまってしまって(笑)。

— なっちゃんは動物好きだった？

(母) 好きだけど、さわれない。将平の方は自分から近寄っていくタイプ。

— お母さんは？

(母) 怖いぐらいです(笑)。

— でも一度ここで、馬に乗りましたよね。

(母) 怖かったです。あんなに揺れるなんて。子どもたちが乗れることに、感心しました。

— あの時乗ったのは、将ちゃんが乗ろうって言ったから？

(母) いえ、(照れながら) 私が乗りたくて、将平を誘って2人で乗ったんです(笑)。

— 2人が今後、ここでどんなふうになってくれたらいいでしょうか？

(母) 将平の方は、馬にもすっかり慣れて、終わつた後も、馬にダッコするようなこともあります。あとは人間関係です。ここではボランティアさんがよく話しかけてくれるので、人とのふれあいを大切にしたいです。

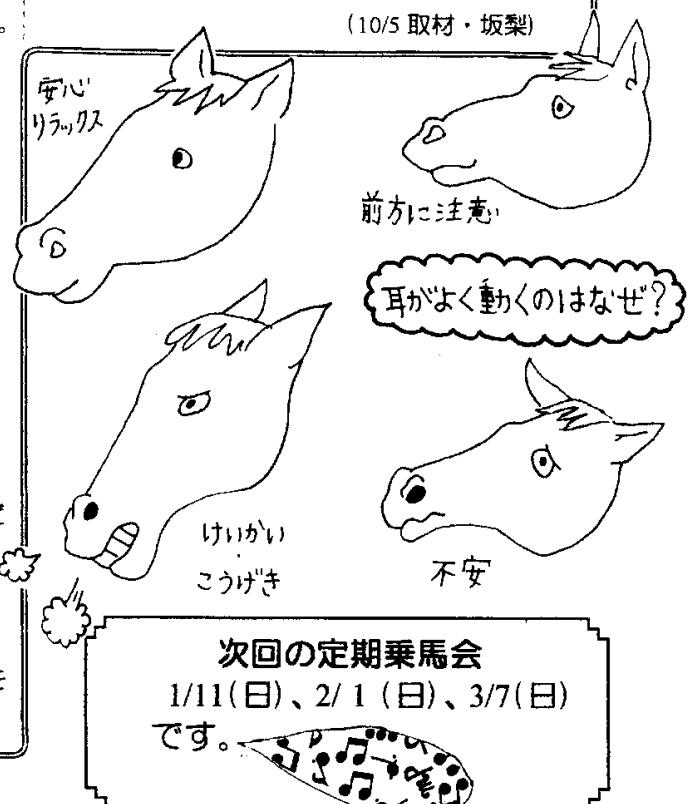
— なっちゃんは？

(母) 馬に乗るのがすごく好きになったので、走ったりするのを楽しみにしています。

— こんなところで、まとめてみます。

(母) ボランティアさんのこと、強調しておいて下さいね。みんなからかわいがられる子にとって思つてましたから、とても嬉しいです。

(10/5 取材・坂梨)



### 次回の定期乗馬会

1/11(日)、2/1(日)、3/7(日)  
です。



「自然・馬・人の会」 会長 桜井 広利  
〒250-0045 小田原市城山1-3-22  
TEL 0465-32-1308 FAX 0465-32-1332  
E-mail na-nhp@wb3.so-net.ne.jp(中村)  
ホームページ <http://dhi.cool.ne.jp/uma/>

後援：小田原市

助成：子どもゆめ基金・ともしひ基金果実事業

富士ゼロックス端数クラブ(渡辺義彦さんのご紹介)